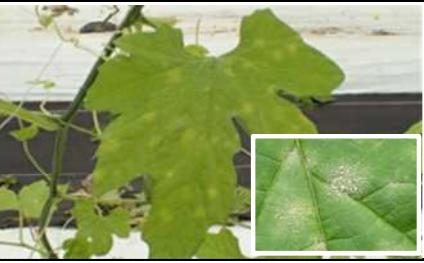
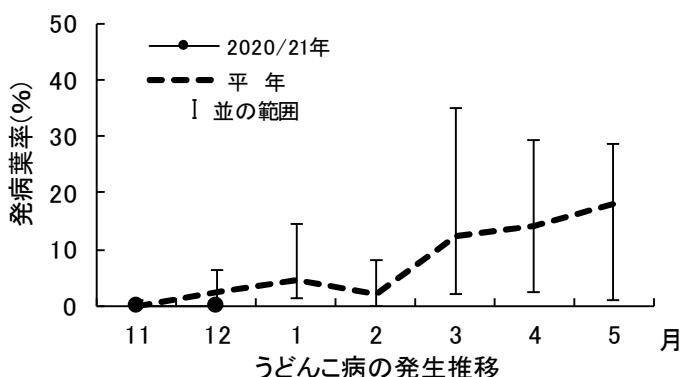


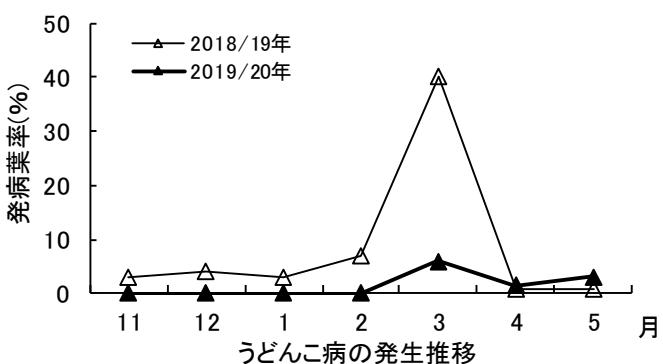
作物	ゴーヤー(施設)	地域	八重山群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	並	
予報	12 月からの増減傾向	↗	
1 月の発生量 (平年比)	並	平年の発生量の推移 (ノ)	
予報の根拠	平年の発生量の推移 (ノ)		

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



・発生率 : 40% (平年値 : 68%)

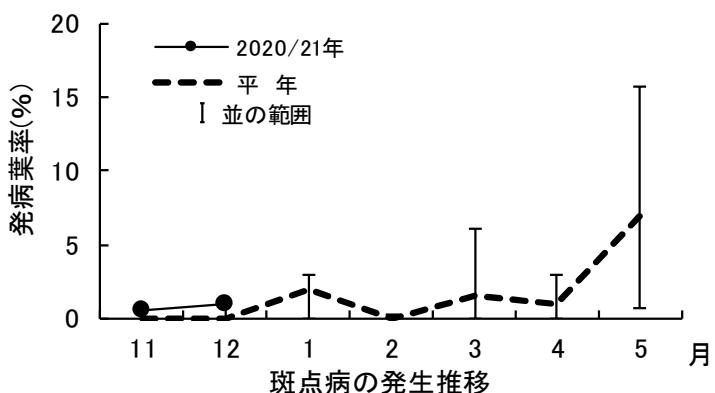
防除のポイント

- 老葉や病葉は発生源になるので除去し、施設外に持ち出し処分する。
- 過繁茂を避け、透光通風を良くする。
- 多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- 多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点をおく。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

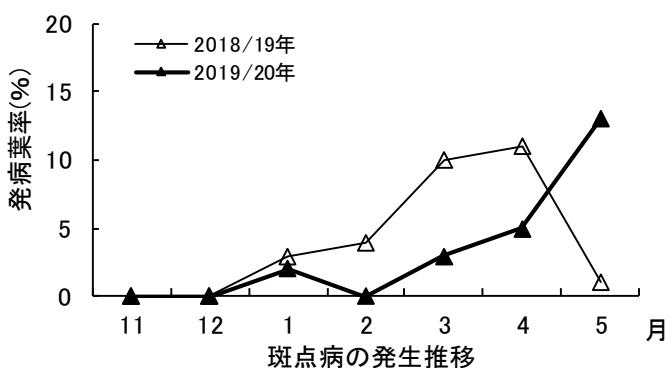
作物	ゴーヤー(施設)	地域	八重山群島
病害虫名	② 斑点病		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	12 月からの増減傾向	↗	
	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (ノ)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



・発生ほ場率 : 60% (平年値 : 35%)

防除のポイント

- 葉には周囲が黄色で中央が灰色の円形病斑を形成し、果実では表面にすす状のカビを生じる。
- 老葉や病葉は発生源になるので、施設外に持ち出し処分する。
- 過繁茂を避け、透光通風をよくする。
- 多湿条件で発生が助長されるため、湿度管理に注意する。またビニールの破れは補修する。

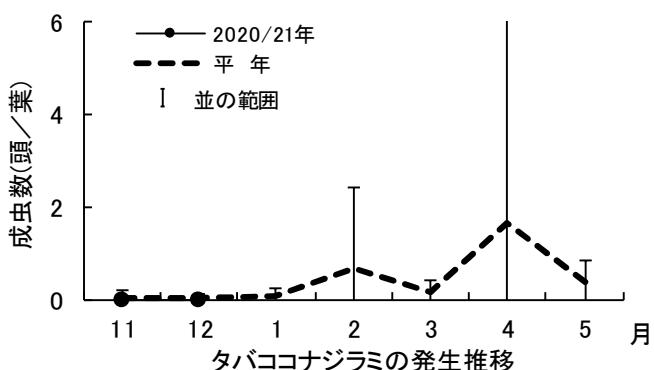
作物	ゴーヤー(施設)	地域	八重山群島																								
病害虫名	ミナミキイロアザミウマ																										
調査結果	12 月の発生量 (平年比) (発生なし)並																										
予報	12 月からの増減傾向 → 1 月の発生量 (平年比) 並																										
予報の根拠	平年の発生量の推移 (→)																										
調査結果																											
今期と平年の推移	<table border="1"> <caption>ミナミキイロアザミウマの発生推移 (成虫数/葉)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2020/21年 (頭/葉)</th> <th>平年 (頭/葉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>12</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>1</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>2</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>3</td><td>0.15</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>4</td><td>0.60</td><td>0.70</td></tr> <tr><td>5</td><td>0.40</td><td>0.40</td></tr> </tbody> </table>			月	2020/21年 (頭/葉)	平年 (頭/葉)	11	0.05	0.05	12	0.05	0.05	1	0.05	0.05	2	0.05	0.05	3	0.15	0.15	4	0.60	0.70	5	0.40	0.40
月	2020/21年 (頭/葉)	平年 (頭/葉)																									
11	0.05	0.05																									
12	0.05	0.05																									
1	0.05	0.05																									
2	0.05	0.05																									
3	0.15	0.15																									
4	0.60	0.70																									
5	0.40	0.40																									
過去 2 年の推移	<table border="1"> <caption>ミナミキイロアザミウマの発生推移 (成虫数/葉)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2018/19年 (頭/葉)</th> <th>2019/20年 (頭/葉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>12</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>1</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>2</td><td>0.05</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>3</td><td>0.15</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>4</td><td>0.20</td><td>0.20</td></tr> <tr><td>5</td><td>0.40</td><td>0.05</td></tr> </tbody> </table> <p>・ 発生率 : 0% (平年値 : 10%)</p>			月	2018/19年 (頭/葉)	2019/20年 (頭/葉)	11	0.05	0.05	12	0.05	0.05	1	0.05	0.05	2	0.05	0.05	3	0.15	0.15	4	0.20	0.20	5	0.40	0.05
月	2018/19年 (頭/葉)	2019/20年 (頭/葉)																									
11	0.05	0.05																									
12	0.05	0.05																									
1	0.05	0.05																									
2	0.05	0.05																									
3	0.15	0.15																									
4	0.20	0.20																									
5	0.40	0.05																									
防除のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 本種は吸汁により果実表面にケロイド状の被害を生じるほか、灰白色斑紋病を媒介する。 施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。 施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。 多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。 																										
	<p>果実の被害</p>																										

作物	ゴーヤー(施設)	地域	八重山群島																								
病害虫名	アブラムシ類																										
調査結果	12 月の発生量 (平年比) (発生なし)並																										
予報	12 月からの増減傾向 → 1 月の発生量 (平年比) 並																										
予報の根拠	平年の発生量の推移 (→)																										
調査結果																											
今期と平年の推移	<table border="1"> <caption>アブラムシ類の発生推移 (頭/葉)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2020/21年 (頭/葉)</th> <th>平年 (頭/葉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>12</td><td>0.1</td><td>0.6</td></tr> <tr><td>1</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>2</td><td>0.0</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>3</td><td>0.0</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>4</td><td>0.0</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>5</td><td>0.0</td><td>0.1</td></tr> </tbody> </table>			月	2020/21年 (頭/葉)	平年 (頭/葉)	11	0.1	0.1	12	0.1	0.6	1	0.0	0.0	2	0.0	0.2	3	0.0	0.1	4	0.0	0.1	5	0.0	0.1
月	2020/21年 (頭/葉)	平年 (頭/葉)																									
11	0.1	0.1																									
12	0.1	0.6																									
1	0.0	0.0																									
2	0.0	0.2																									
3	0.0	0.1																									
4	0.0	0.1																									
5	0.0	0.1																									
過去 2 年の推移	<table border="1"> <caption>ア布拉ムシ類の発生推移 (頭/葉)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2018/19年 (頭/葉)</th> <th>2019/20年 (頭/葉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>0.2</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>12</td><td>0.5</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>1</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>2</td><td>0.2</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>4</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table>			月	2018/19年 (頭/葉)	2019/20年 (頭/葉)	11	0.2	0.2	12	0.5	0.1	1	0.0	0.0	2	0.2	0.0	3	0.0	0.0	4	0.0	0.0	5	0.0	0.0
月	2018/19年 (頭/葉)	2019/20年 (頭/葉)																									
11	0.2	0.2																									
12	0.5	0.1																									
1	0.0	0.0																									
2	0.2	0.0																									
3	0.0	0.0																									
4	0.0	0.0																									
5	0.0	0.0																									
防除のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ほ場周辺に防風対策を兼ねた防虫ネットやソルゴー等を設置し、有翅虫の飛来侵入を防ぐ。 葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。 ほ場周辺の雑草はアブラムシ類の発生源になるので除去する。 本種はウイルス病を媒介する。 																										

作物	ゴーヤー(施設)	地域	八重山群島
病害虫名	タバココナジラミ		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	12 月からの増減傾向	→	
	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



・ 発生ほ場率 : 0% (平年値 : 18%)

防除のポイント

- 多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- 施設開口部には目合い0.6ミリ以下の防虫ネットを展張し、本種の侵入を防止する。
- 黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- 幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。